



議員の  
新人7人に聞く **職員の声**  
聴く × つなぐ

# 令和5年度 新規採用職員の声

Q & A

新人職員7人に動機・町民・少子化・誘客・移住の5つの質問に答えてもらいました！

## 動機

就職先として小川町役場を選んだ動機は？

A 町をよりよくしていくことに貢献したかったからです。  
生まれ育った小川町で働きたかったからです。

## 町民

町民のために何をしたいですか？

A 危なくないと感じる道路等の整備を進めたいです。  
年齢に関係なくコミュニケーションを取れるイベントを開催したいです。

## 少子化

当町の少子化対策をどう思いますか？

A 国の少子化対策拡充に合わせて、さらなる施策を打ち出していけるとよいと思います。

出産時の補助金があることや、妊娠のケアについて、町の連携がとれていてよいと思いました。

## 移住

移住、定住に関して当町の魅力は何だと思いますか？

A 豊かな自然、電車1本での通勤、高速のインターが近い、リフォームをすれば安く住めるところだと思います。

## 誘客

誘客に関して当町の魅力は何だと思いますか？

A 都心から遠くなく、紙漉き体験、ハイキング、レジャーが楽しめる場所だと思います。



※吹き出しの位置と回答者は無関係です

## 編集委員の 任期を 終えて

山口勝士 発行責任者  
「多くの方に届け！」委員はその思いで2年間走り続けた。「思い」は必ず受け継がれていく。心から拍手！



高橋功人 委員長  
毎回行われる編集委員会の議論は、新人議員として貴重な時間でした。読者の皆様、大変ありがとうございました。



田中照子 副委員長  
心がけた事は、皆様の手に取ってもらえる広報。内容の正当性です。活発な意見交換は、大変勉強になりました。



## 高瀬 勉 委員

3年半振りに戻った編集委員会。ギャップとブランクで苦労の連続でした。「新メンバー」の活躍と「次号」に期待！



## 笹本孝幸 委員

令和元年からの4年間の委員会の編集作業は悪戦苦闘の1年目を除けば、非常に勉強になったと思います。



## 五十嵐康博 委員

多くの「言葉」の意味について探求し、学ぶことのできた貴重な時間。感謝の気持ちでいっぱいです。



## 稲村壤治 委員

わずか1年でしたが、議会の事を記事でお届けする事は、学びの連続でした。本当にありがとうございました。



## ・今号の表紙・ 地域で育つ子どもたち



小学校は地域の教育と文化の拠点として歴史を刻んできました。開校150周年記念たんぼアートに挑む児童です。

次の定例会は **9** 月下旬を予定しています

※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ



発行責任者：小川町議会議長 山口勝士  
編 集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋功人 副委員長 田中照子  
委員 高瀬 勉・笹本孝幸・五十嵐康博  
稲村壤治



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しています